

# 女の空間 NPO 会報

第65号  
2019年4月

発行 特定非営利活動法人 女の空間NPO  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-4-18-401  
TEL&FAX 03-3711-5054  
発行人 長沖暁子

office@space-for-women.org  
http://www.space-for-women.org

## 定例会

- 5月12日(日) 13:30~16:00
  - 6月 2日(日) 13:30~16:00
  - 7月 7日(日) 13:30~16:00
- \* 日時が変更となることもありますので、ご出席の方は直前にお確かめください。

## おしゃべり会



- 5月 24日(金)19:00~21:00  
「遠距離介護を続けるノウハウ」  
お話：中村早苗さん
- 6月30日(日)13:30~16:00  
「成年後見制度から考える  
~私たちが欲しい支援 Part VIII」  
担当：長沖、丸山
- 7月28日(日)13:30~16:00  
「女性監督の映画を観て話そう  
Part 6」

## 女の空間カフェ



第2月曜日 14:00~21:00

- 5月13日
  - 6月10日
  - 7月 8日
- \* 会場：女の空間NPO事務所  
\* 予約は必要ありませんが、初めていらっしゃる方はメールでご連絡願います。  
office@space-for-women.org  
\* 詳細は最終ページ、またはwebサイトをご参照ください。  
http://www.space-for-women.org

## 自分が選んだ関係の中で生きる

長沖暁子

団塊の世代とウーマン・リブの世代はほぼ重なっています。そのリブ世代が老後を迎えています。4月のおしゃべり会はそのお一人を友人の女たちが看取ったお話でした。先輩の皆さんが（私はちょっと下の世代）、新しい女たちの生き方を実践してくださっていること、そこから次の世代の女たちが学べていけることに私は昔も今もとても感謝しています。そのお話の中から私が必要だと感じたこと＝これがないと私が安心して死ねないと思うことを書きたいと思います。

私が望むのは、自分が選んだ関係の中で生きたいし、生ききりたいということ。だとすれば、現在、血縁、親族でしか担えないとなっていることを一つ一つ洗い出して、変えていくことが必要だということです。

今回のお話の中に火葬許可証は友人ではもらえず、亡くなった方が入っていた施設長の名で出たという話がありました。ちょっと調べてみたら、火葬許可証は死亡届を出すもらえるのですが、自治体のサイトによれば死亡届を出せるのは、死亡者の親族、または次のものでも可能と書いてありました。そこに挙げられていたのは1.同居者、2.家主、3.地主、4.家屋管理人、5.土地管理人、6.後見人、7.保佐人、8.補助人、9.任意後見人。つまり、友人は入っていないわけです。施設長は家屋管理人あたりの扱いでしょうか？ なぜ友人ではいけないのか？ その根拠をはっきりさせるためには法的な知識も必要になるのかもしれませんが、法を変えていくことも必要になるのかもしれませんが。体験が増えていけば、こんな手続きが他にもいっぱいありそうです。

もう一つ、それぞれの個人が持っているお金は少なくても、基金があればそこに託したいという思いが、話の中でも出てきました。現状で言えば、女の空間がその受け皿になるほど女の空間の明確なビジョンが見えていないということにもなります。このままだとかおりさんの意思も無駄になってしまう、女の空間よ、ちゃんとしろ！ と決意を新たにしました次第です。

自分にできる始末はしたほうが良いけど、人に迷惑をかけたくないというのは違うな、迷惑をかけるのはおたがいさまと、女たちが自分の選んだ関係の中で世代を超えて助け合える新しい関係を作っていけたらいいなと改めて思いました。

# おしゃべり会報告

2019年2月11日（月・休）

「成年後見制度から考える、

私たちが欲しい支援 partⅦ」

丸山則子・長沖暁子

シンクロシティとは、「ゆきあたりバッチリ！」

それは、2月9日（土）の西荻・寺子屋食堂から始まりました。

昨年5月31日、母親代わりだった97歳の伯母を看取ってより生活が激変してしまい、実家が空き家になったこともあり、毎月帰省しなければならなくなりました。

そのような状況の中で新年を迎えて2月9日、毎月第2土曜日の夕方に開店する西荻・寺子屋食堂に行ける時に行っておこうと、2019年の賛助会費を持参しつつ、ほぼ1年ぶりに開催場所のかがやき亭（03-5303-5085、杉並区西荻北4-4-4）を訪ねました。行ってみると満員御礼なのにびっくり！そこには多くの親子連れだけでなく、志ある魅力的な大人の方々が集っておられました。そのような中で塚越さんと初対面し、そして意気投合したのでした！

塚越さん自身、そのほんの数日前に西荻・寺子屋食堂代表の能登山さんと初対面したばかりで、誘われるままに9日夕、かがやき亭にいらっしやうとお聞きして驚くと共に、人との出会いがもたらす「化学変化」の素晴らしさを予感してワクワクしながら、その場で翌々日に迫った11日午後のおしゃべり会にお誘いし、快諾して頂いたのです。

2月11日のおしゃべり会では、私自身伯母の相続手続きの只中にあることもあって色々質問したところ、有益なアドバイスを受けられたのみならず、皆様から暖かな励ましを頂くことができて本当に助かりました。

何よりも、『私、日本に住んでいます』など2冊の岩波ジュニア新書を出しておられるスベンドリニ・カクチさんが参加しておられて、彼女のスリランカの御宅を来春お訪ねしようかなどと盛り

上がった、塚越さんと木下礼子さんが共に長野県の御出身であることが判明したりするなど、ここでも人との出会いとつながりの素晴らしさが輝き出るような幸福な時間が流れてゆきました。

この拙文を読んで下さっている皆様に、私は声を大にして言いたいのです。今年は思い切って、新しい場所に出て行ってみようではありませんか！そこには思いもよらなかった展開が待っているに違いないと、期待に胸を膨らませながら…。

即ち、おしゃべり会や定例会やカフェにできるだけ参加して情報交換をし、できれば新しい方々に「女の空間」を紹介し、また、どこかで面白い取り組みが始まっていると知ったら、そこへ有志で押しかけてみるとか…。

かつて「共時性」と訳されていたシンクロシティは、河合隼雄氏が「意味のある偶然の一致」と訳し直されましたが、ある方に数年前、「要するに、『ゆきあたりバッチリ！』ということなのよ」と教えてもらって以来、この訳語を気に入って愛唱している私です。口にしてみるだけで、閉塞感に風穴が開くように感じるからです。

最後に、待ちに待った春となって、キリスト者でもあり、相応しい聖句を引用して終わりたいと思います。

それまで全く接点を持たなかった人同士が会う時、どんな思いがけない素晴らしいアイデアが生まれるかということに思いを馳せつつ、且つその豊かな可能性に胸を膨らませつつ。

ごらん、冬は去り、雨の季節は終わった。

花は地に咲きいで、  
小鳥の歌うときが来た。  
この里にも山鳩の声が聞こえる。

いちじくの実は熟し、ぶどうの花は香る。  
恋人よ、美しいひとよ  
さあ、立って出ておいで。

（旧約聖書 雅歌第2章11～13節）

（たかはし）

平均寿命が、女性の方がずいぶん長い昨今です  
ので既婚未婚に関わらず、女性は最期の時までど  
うしていくか考える事柄が多々あることと思いま  
す。

片付けの話をお聞きしながら、気力や体力が落  
ちてしまって少し手伝ってほしいことというの  
は、若い世代の家庭も含め、誰しもありうること  
だろうなと思いました。ただそれでも、知り合い  
には入ってほしくない、弱いところを知られたく  
ない等を感じているうちにゴミ屋敷化してしまっ  
たり、病気や介護状態になってから周囲も気が付  
く、といったケースも多々あります。

ご本人がお元気なうちから続けて、気軽に使う  
ことのできるサービスやご家族以外の関係がたく  
さん生まれることがあれば少し安心も増えるのだ  
ろうか、と思いました。たとえば認知症の方でも  
ずっと顔見知りのスタッフは覚えて下さっていたり  
しますので、そういった点でも同じ方が関わり  
続けられたらなどと願っています。

これからの時代、新しい形の人間関係が生まれ  
ていき、それは決して寂しいことではなく、家族  
とも良好な関係を築ける素になると思っています。

どうやって新しい形を築いていくか、その場に  
関わっていくのかそもそも家から出たくない人、  
など課題は尽きないかもしれませんがこども食堂  
が急激に増えたように、少しずつ手探りでも始め  
たことがなんらかの流れをつくっていくこともある  
のだろうと信じて探ってみたいなどと思いま  
した。

(つかこしみどり)

2月11日はいろいろな出会いと新鮮な切り口が  
あり、今ここに生きている私が高齢であってもな  
くても、私らしい暮らしを続けていくのには、そ  
れぞれに欲しい支援があるのだと気づきました。  
また、私の欲しい支援とは何かをどう言語化する  
かが結構大変であることも分かりました。

どんなネットワークや仕組みが考えられるかを  
視野にいれながら、もっとおしゃべり会を広げて  
いきたいと思いました。一方で、どんどん変わる  
行政仕組みやサービスの情報を社会的資源として  
キャッチしていくことも必要ではないかとも考え  
ます。

さて、ここで、地域散歩の提案です。散歩がて  
ら、行政の窓口に行かれて、死後の手続きについ

て質問するとさまざまな冊子が用意されていま  
す。条件さえ満たせば葬祭費が支給されたり、低  
額で行えることも可能ですとも教えてくれます。  
春の花に誘われて、散歩はいかがでしょう。

(のりこ)



2019年3月日(日)

「女性監督の映画を観る」

(脳死と臓器移植をテーマにした映画を上映)

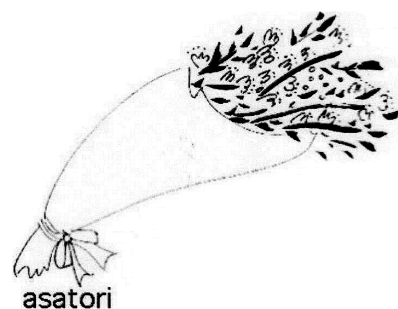
死はいつやってくるか判らない。この映画のよう  
に、まして若い息子が脳死になって臓器移植を提案  
されたら、親のとまどいは一層だろう。

自分が当事者だったらどうする？ それで誰  
かが助かるならと思う一方で、からだの一部を  
持っていかれてしまう喪失感に抵抗がある。

映画では、つまり監督は賛成の立場をとっていた  
けれど、私自身は臓器提供のカードにOKしていな  
い。

何と言われようと自分のからだは自分のもの。決  
めるのは私。何もしないでほしい。でもそれはエゴな  
のだろうか？ 映画を観終わっても答えを出せずに  
います。

(れいこ)



## ☆女の空間カフェ☆

毎月第2月曜日の14時～21時に女の空間の事務所  
所で開いています。テーマを決めずに自由にお話  
できます。皆さん、おいでください。



### ☆☆☆おしゃべり会の予定☆☆☆

女たちに遺す私の財産＝女の知恵や思いを伝える  
おしゃべり会。ゲストのお話をきっかけにいろ  
いろなことを話し合います。会員でない方の参加  
も大歓迎です。予約は必要ありませんが、初めて  
いらっしゃる方は[office@space-for-women.org](mailto:office@space-for-women.org)ま  
でご連絡ください。

場所：女の空間NPO

参加費：200円

♀ 5月24日(金)19:00～21:00

「遠距離介護を続けるノウハウ」

話し手 中村早苗さん

東京一愛媛を通いながら両親の遠距離介護をす  
でに9年続けている中村さん。具体的にどのようにや  
ってきたのか。この体験を共有していただくことで、次  
に介護に向き合う人が、一歩先から始められるよう  
になったらと思います。

♀ 6月30日(日)13:30～16:00

「成年後見制度から考える

私たちが欲しい支援 partⅧ」

担当 丸山・長沖

もう8回を迎える私たちが欲しい支援とは？ 私が  
欲しいものから、周りの人に何ができるのかに広がり  
ができてきて、そろそろ具体的に何をどうやっていき  
たいのかを考えたいものです。初めての方の参加も  
大歓迎です。お待ちしております。

♀ 7月28日(日)13:30～16:00

「女性監督の映画を観て話そう Part6」

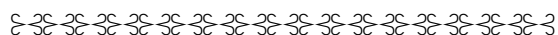
普段どの映画を見るか作品を選ぶとき、あなたが  
気にする要素はなんですか？

お気に入りの俳優が出ているから、映画祭で受賞  
した監督・作品だから、テーマが気になる、

原作(小説や漫画)が好きだから、、、理由はいろ  
いろ。

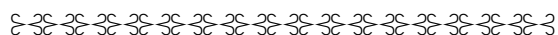
女性監督の作品を選んで、みんなで観る6回目。

今回も、どんな映画になるか、来てみてのお楽し  
み！



### お知らせ

女の空間を事務所として使う新しいグループが  
入りました。「SOSHIREN女のからだから」。82年  
から優生保護法(現母体保護法)と墮胎罪の撤廃  
に向けて活動してきたグループです。次号のニュ  
ースで活動など、ご紹介したいと思います。利用  
団体の交流会をしたいとずっと思いつつできてい  
ません。今後企画したいと思います。よろしくお  
願いします。



### [編集後記]

女の空間の事務所は中目黒にあります。そう、あの花見で  
有名な中目黒です。年々人が増えてきているような気がしま  
すが、この時期の中目黒駅は大変。人ごみの中を私は花見客  
ではありませんと、声を出さずとも意思表示しないとどこに  
連れていかれるかわからない感じです。今年は花が咲いてか  
ら気温が下がったせいか、花がよく持ちました。(というこ  
とは喧騒も続いたということですが…。)

今年初めて目黒川のお花見クルーズというのに乗る機会が  
ありました。天王洲アイルから目黒通り付近まで船でさかの  
ぼります(中目黒はもう少し上流で、だんだん浅くなるため  
船では入れない)。川沿いから手を振ってもらって、ちょっ  
とスター気分になれますよ。

(さとこ)

会費納入はこちらへ

年会費 6000円(入会金6000円)

郵便振替 口座名：女の空間NPO

口座番号：00170-0-561307